

## 第71回全国植樹祭 島根県準備委員会（第3回）議事等の概要

●日 時 平成29年7月19日(水) 10:00~10:45

●場 所 松江市殿町158 「島根県民会館」 多目的ホール

●議事等の内容

1. 委員長挨拶

2. 議 事

### (1) 第71回全国植樹祭 基本構想(案)について

事務局から基本構想(案)等について説明。(資料1)

《質疑等》

◆委 員： 大田市を候補地とする選定理由は、「伐って・使って・植えて・育てる」循環型林業の開催理念に合っていたからだと思う。

植えた木を伐ることは、これまでの植樹祭ではなかったこと。木材産業界としては木を使わせてもらい、森林に再生してこそその森林・林業・木材産業だと思う。植えた木を伐って使う取り組みは、木材産業界としては歓迎すべきところ。

植樹会場については、今後検討され、候補があがると思う。

◇事務局： 今回の植樹祭の考え方が「循環型林業の実践」ということで、前回の植樹祭から49年が経過するにあたり、それを成果に生かして次につなげていきたい。

今回候補地として、総合的に判断して大田市に決定したが、前回の会場だったことは1つの強み。

植樹会場については、他県同様1カ所ではなく面的に広がりを持って設定したい。県全体の機運を盛り上げながら植樹祭を開催できればと思っている。

◆委 員： 今回候補地は国立公園内ということもあり、豊かな自然環境あるいは景観に優れた立地条件で、開催理念にある本県の特徴や魅力や自然を全国へ発信できる理念にふさわしいと思う。前回育樹祭の会場としても利用しており、活用できるものもあると思う。

◆委 員： 開催規模を今回4,000人とした根拠を詳しく教えて欲しい。

◇事務局： 近年の開催例では(屋内会場を除く)4,000人以上の規模の大会がほとんどである。

8月に設立予定の実行委員会では、もう少し開催規模等の精査した数字が出せると思うが、大会として恥ずかしくない規模であり、なおかつ華美になり過ぎない一つの目安が4,000人である。

◆委 員： 招待者は、どんな人を指すのか。協力者・スタッフを含めるともっと大人数になるのか。

◇事務局： 招待者数で表記したのは、他県との規模比較のために記載した数字。ポラ

ンティアスタッフを除き、式典に参加する方が約4,000人であり、全体規模は、もっと多くの方に協力してもらい開催することになるだろう。

◆委員：具体的に招待者とは、どのような人なのか？

◇事務局：全国植樹祭は、各県に全国各地から参加したい人を推薦していただいている。

県外からは、主に林業に長年携わっておられる方、関係団体の代表、国・県・市町村の関係者、島根県より後に開催の立候補をしている各県の関係者が多い。

県内からも、県民の方にはたくさん参加していただきたい。

◆委員：平成32年春に植樹祭が開催となると、早急に樹種と苗木のサイズの決定をして欲しい。

◇事務局：時間的に猶予が必要なものは前倒しで決めていきたい。

◎委員長：皆様からご意見を頂き、異論はなかったということで、準備委員会としてこの基本構想（案）を最終案に決定したい。

今後設立が予定されている第71回全国植樹祭島根県実行委員会で、本日承認された基本構想（案）を報告し、その後、実施計画の策定など大会の具体的な準備を進めていく。

## (2) 今後の予定について

事務局から今後の予定について説明（資料2）

◇事務局：8月9日国土緑化推進機構理事会で島根県開催が正式決定となり、秋以降で機構の役員が候補地を知事と現地視察、協議した後に会場が正式決定となる。

《質疑等》  
特になし

## 3. その他

◎委員長：今回の第3回準備委員会が最後の委員会となる。今後は知事を会長とする実行委員会に業務を引き継ぎ、準備委員会は解散とする。

◇事務局：たくさんの貴重な意見・質疑ありがとうございました。委員の皆様には基本構想案を承認いただきありがとうございました。準備を早く進めるべく、一生懸命前向きに良い植樹祭になるよう取り組みを加速させたいと思っている。引き続き各界から協力を賜りますようお願いいたします。

以上